

Q3) 平取ダムの建設にあたって、どのようにアイヌ文化の保存や伝承、振興に取り組んでいるのか教えてください。

【回答】

- 平取ダム建設に伴い、アイヌ文化に与える影響とその保全対策の具体化に向けた検討を行うため、平成18年度に北海道ウタリ協会平取支部長（現：平取アイヌ協会会長）、平取町長、専門家等から構成される「平取ダム地域文化保全対策検討会」を設置しました。
- 検討会では、アイヌの人たちをはじめとする地域住民の主体的参画と専門家との協働により、現地調査やアイヌ文化の保存、伝承、振興について取り組んでいます。
- アイヌの文化的所産保全にあたっては、精神文化、動植物、生活文化、文化景観の保全対策とアイヌ文化の普及方策、栽培実験の継続の6つの検討項目について、記録による保全、行為による保全、場による保全の3つの手法で保全対策に取り組んでいます。
- これまでの取り組みとしては、カムイノミの実施、伝統的漁法（さけの松明漁）の再現、伝統的農法（川洲畑）の再現、マニュアルの作成、アイヌ語表記による橋名板の設置等について実施しています。
- 詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



写真-1 検討会の開催状況



写真-2 現地でのカムイノミの実施
(行為による保全)



写真-3 伝統的漁法の再現
(行為による保全)



写真-4 伝統的農法の再現
(行為による保全)



写真-5 川洲畑再現マニュアルの作成
(記録による保全)



写真-6 アイヌ語表記による橋名板の設置
(場による保全)